



「達成感・自信とともにゴール！」

弟子屈町未来子ども協議会の主催で今年も行われた「元気いっぱい！僕らの旅！（アドベンチャーツーリング2015）」。8月8日に網走市を出発した小学生13人が、自転車で266.5キロを走り抜き、12日にそろって弟子屈町に到着しました。

(関連記事 5～11ページ)

Public relations magazine

2015.9

No.733

てしかが

主な内容

- てしかが まち・ひと・しごと 創生……②
- 協力隊通信 南弟子屈の風……④
- 元気いっぱい！ほくらの旅！……⑤
- 平成27年国勢調査を実施します！……⑫
- マイナンバー制度が始まります！……⑭
- 町税などの納期限／夜間納税窓口開設……⑳

むかしむか史 (299)

てしかが歴史写真館 173



当時の温泉桶

川湯温泉誕生に関わった人々

川湯温泉が開かれたのは、1886(明治19)年と伝えられている。標茶町でそば屋をしていた高橋貞蔵という人が、川湯で料理屋を兼ねた温泉宿を始めたのが、その原点であると語り伝えられている。しかし、何年かして硫黄山で働く人夫たちの賭博場と化し、次第に混乱したため、営業不能となって空き家になってしまうのである。

その後、北見国境の道の開発によって、斜里方面から湯治客が来るようになり、自由にその空き家を使っていたが、それも使用には耐えない状態となってしまった。

そこに登場したのが黒瀧初太郎氏である。御園ホテル付近に湯治者が利用するための小屋を造るが、それは便宜を図る程度のものであった。

1898(明治31)年ごろ、浅野清次氏(五月女旅館の先代)が全く人気のない川湯温泉で唯一の温泉経営を始めた。その後も、昭和時代、開発期の川湯温泉の主として守り通したことが、現在の川湯温泉につながっていることは間違いない。

一方で、この温泉は1858(安政5)年、佐野孫右衛門氏によって開かれたという説もあるが、それを裏付ける資料が今のところ見当たらない。

(弟子屈町史1号から)

てしかが郷土研究会(菊池)

てしかが 2015.9

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ㊟482-2696 〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています